

## アグリビジネス創出フェア「LEDの夜間補光による葉菜類の大幅増収」で出展

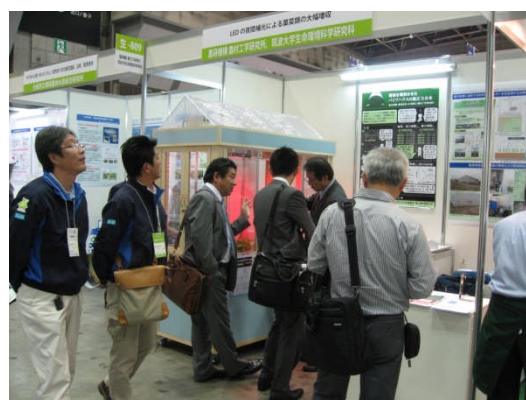
10月23～25日に東京ビックサイトで開催されたアグリビジネス創出フェアに、「LEDの夜間補光による葉菜類の大幅増収」と題して出展しました。これは筑波大学生命環境科学研究科との共同研究成果で、通常のハウス栽培に赤色LEDの夜間補光を加えるだけで、冬ならレタスは2～3倍、シュンギクは4～5倍増収できることを紹介しました。また、「側面を傾斜させたパイプハウスの風圧力分布」について、風洞での風圧測定の様子を再現した模型を使ってパイプハウスの耐風技術に関して判り易く説明しました。「宮城県南部沿岸地域の水資源・未利用エネルギーを活用した中規模園芸生産システムの技術開発」についても、宮城県岩沼市のキュウリハウスでの水熱源ヒートポンプによる暖房、亘理町のイチゴハウスでの農業用逆浸透膜装置による灌水の除塩などの研究の進展と普及状況について紹介しました。

農業施設工学担当は3年連続で本フェアに出展させていただきました。植物工場ブームもあって、この3年間でLEDを展示するメーカーもぐっと増えたことを実感しましたが、補光目的のLED照明はまだ見当たりません。オランダでもLEDによる補光照明開発はこれからであり、どこよりも早くLEDによる夜間補光の有効性と具体的な補光方法を示すことができたと思っています。簡易版ですが、「LEDによる葉菜類の夜間補光の手引き」も配布しました。

本フェアは農業全般からの出展があるので、海藻養殖や病院経営といった、思わぬ分野からも来訪をいただきました。広範な分野の方に興味を持っていたのは、実物や模型といった現物の展示が大いに役立ったと思います。ブースにお越しいただいた皆様と関係各位に御礼申し上げます。



来訪者と懇談する研究者の奥島上席（右）



会場での説明風景